

神楽会館 だより

KAGURAKAIKAN



9月定期公演 (9月17日) ・浅草・犬山神楽 (豊後大野市大野町)
 ・横堀岩戸神楽保存会 (阿蘇市波野)



▲浅草・犬山神楽 第1幕「綱之武」

須佐之男命は、服織女に向けてきたままの馬の皮を投げつけ、服織女は機織り道具が刺さり亡くなってしまいます。機屋で乱暴を働く須佐之男命を八百万の神々が制止しようとする物語です。



▲横堀岩戸神楽保存会 第2幕「天のメ」

須佐之男命は、高天原の天照大御神にお別れの挨拶に行きます。この時天照大御神から三種の神器を頂いて旅立ちます。竹登りは、このときの様子を舞にあらわしたものです。



▲浅草・犬山神楽 第3幕「神逐」

天照大御神の岩戸隠れは、無事に解決しましたが、八百万の神々は混乱を招いた須佐之男命を許さず罰を与え追放しようとする物語です。



▲横堀岩戸神楽保存会 第4幕「八雲払」

高天原を追放された須佐之男命が、出雲の川上で八岐大蛇に吞まれる運命にある櫛名田比売に出会い、八岐大蛇を退治し櫛名田比売と結ばれるというお話です。

〈来場者の声〉

- ◆ 浅草・犬山神楽の笛の音やメロディーはほかの神楽座にはないリズムで、響きも良かったです。
- ◆ 浅草・犬山神楽の「綱之武」が良かったです。
- ◆ 久しぶりに横堀岩戸神楽の「天のメ」を観て感動しました。
- ◆ 横堀岩戸神楽の「八雲払」のじいちゃん、ばあちゃんかわいかったです。じいちゃんの声が良かったです。
- ◆ 4演目ともに楽しかったです。太鼓の音が響きました。
- ◆ 浅草・犬山神楽の舞が良かったです。横堀岩戸神楽の天のメの竹登りがすごかったです。

などたくさんの感想をいただきました。ありがとうございました。

公演のお知らせ



◆ 10月公演: 10月15日(日) | 12:30~15:30 (チケット発売中)



【出演団体】
緒方三社神楽保存会
(豊後大野市緒方町)

【演目】
「五穀舞」・「八雲払」



【出演団体】
阿蘇野神楽座
(由布市庄内町)

【演目】
かみつかい 「神使」
てんこうけん 「天皇遣」

緒方三社神楽保存会は、緒方一ノ宮社・二ノ宮社・三ノ宮社に所属する神楽座で、昭和41年には県の無形民俗文化財に指定され、昭和52年には第1回大分県神楽大会で第1位を獲得するなど、勇壮で激しく、御嶽流の中でも重厚感のある舞を信条としています。

阿蘇野神楽座は、由布市庄内町にある神楽座の一つで、大野系岩戸神楽を継承しています。18名の楽員でつねに修練を重ね、地元の伝統芸能の保存・継承に努めています。勇壮・軽快な舞で、年間を通して町内外の春と秋の大祭での奉納舞や各種イベントなどで活躍している神楽座です。

◆ 11月公演: 11月12日(日)

12時30分から15時30分(チケット販売中)



【出演団体】
御嶽神楽
(豊後大野市清川町)

【演目】
「平国」「五穀舞」
「天孫降臨」
「岩戸開」「大神」

【お知らせ】

第36回御嶽流神楽大会が開催されます!!
2023年10月29日(日)8時30分開演予定
神楽の里「能場公園」(豊後大野市清川町宇田枝)
中学生以上500円 ■観覧方法/全席自由
豊後清川駅より往復でシャトルバス有り。
出演団体/御嶽神楽・緒方三社神楽保存会
竹野浦神楽保存会・竹の中神楽保存会
清川子ども神楽保存会・中江岩戸神楽座

◆ 12月公演: 12月17日(日)

12時30分~15時30分(予約開始日10月17日)

【出演団体】 浅草流黒松神楽(豊後大野市犬飼町)
竹の中神楽保存会(由布市庄内町)

◇チケットお申込方法◇

豊後大野市神楽会館 窓口またはお電話で

Tel.0974-35-2372 受付時間...8:30~17:00

※土日祝日もOK お気軽にお問い合わせください。

【一口神楽メモ】

「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣作る
その八重垣を」と須佐之男命が詠んだ和歌が古事記
の中でも最初に登場しているため日本で最古の和歌と
されています。(雲が幾重にも湧く出雲の地で、妻との
新居に良い場所を見つけた。妻のために垣根を幾重にも
造ろう)という意味で、やっと安息の地を見つけた須佐
之男命の清々しい気持ちが表れている歌です。
神楽の「八雲払」の舞でも須佐之男命が歌います。

